

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、ブラジル中銀がリバース通貨スワップによるドル買い介入を再開(中銀は7月1日から5営業日連続で介入を実施したものの、8日は介入を控えた)したことを受け、対ドルでレアル安が進行。一時3.31台後半までレアル売りが優勢となった。一部の市場関係者は、「中銀の不明瞭な介入方針にマーケットは困惑しており、それが相場のボラティリティを一層高めている」と指摘。①Goldfajn総裁は、6月13日に中銀総裁に就任して以降、ドル買い介入は実施せず消極的な姿勢を示していたものの、7月1日から突如リバース通貨スワップを再開、②当初、マーケットは3.20が中銀の防衛ラインと見ていたが、中銀の思惑通りにレアル安が進行しても介入を継続した(なお、前中銀総裁であるTombini氏の防衛ラインは3.50と見られていた)、③そもそも、現行の介入規模では相場のトレンドを転換させるには不十分であることから、中銀は防衛ラインを死守する以外の目的で介入を実施している可能性がある(Goldfajn氏は1日のValorとのインタビューにおいて、「既存スワップポジションの削減を進めていく」と発言している)。

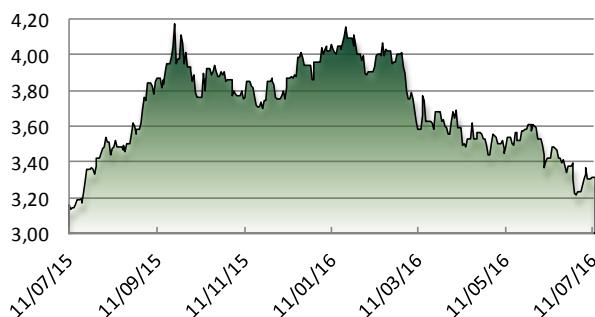
ブラジル下院は今週、下院議長選挙を予定しているが、政府が推しているRogerio Rosso氏が勝利した場合、Temer大統領代行勢力が上下両院を掌握することになり、「市場にとってプラス」と見られている。

マーケットデータ

Indicator	Unit	7月8日	7月11日	前日比	6月10日	1ヶ月前比
レアル	対 ドル	BRL	3,3000	+0,0094	3,4196	-0,1102
	対円	JPY	30,47	+0,59	31,27	-0,21
	対ユーロ	BRL	3,6461	+0,0129	3,8478	-0,1888
円	対 ドル	JPY	100,54	+2,2600	106,97	-4,1700
	対ユーロ	JPY	111,11	+2,57	120,38	-6,70
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	53.141	53.960	+819	49.422	+4.538
CDS Brazil 5yrs (クレジット・フォルトスワップ [°])	bps	309,3	305,8	-3,5	342,8	-37,0
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,05	12,01	-0,04	12,66	-0,65
DI Future Apr17 (金利先物)	%	13,56	13,54	-0,02	13,36	+0,18
3 Months US Dollar Libor	%	0,667	0,667	+0,000	0,656	+0,011
CRB Index (国際商品指数)	Index	187,2	186,7	-0,5	192,9	-6,2

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

